

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	留萌 <small>るもい</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	増毛町 <small>ましげちよう</small> ほか7市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の北西部に位置し、天売島・焼尻島を有する西部は日本海に面し、東部から南部にかけては天塩山地、増毛山地が連なり、北部は天塩平野、サロベツ原野が広がっている。また、中南部では海岸近くまで丘陵が迫り、河川沿いに平坦地が分布している。</p> <p>本地区の総面積345千haのうち、森林面積は286千ha（森林率83%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は32千ha（人工林率33%）で、全体の約4分の3をトドマツが占めている。トドマツの齢級構成はV～XI 齢級が85%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は231千mで、公道等を含む林内道路密度は7.5m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち10千ha（人工林の32%）がVII 齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、留萌地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：11,376ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：5,500m 林業専用道</p> <p>総事業費：3,033,974千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.46 (総便益(B) = 25,095,845千円、総費用(C) = 5,630,301千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:北海道

地域(地区)名:留^る萌^{もい}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 ^{かん} 涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,405,281	
	流域貯水便益	1,763,296	
	水質浄化便益	3,921,385	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,360,599	
	土砂崩壊防止便益	31,129	
環境保全便益	炭素固定便益	4,157,615	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,233,435	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	223,105	
総 便 益 (B)		25,095,845	
総 費 用 (C)		5,630,301	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,095,845}{5,630,301} = 4.46$		

森林環境保全整備事業 留萌地域（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Orange line)
市町村役場所在地	⊙ (Red circle with dot)
一般民有林 (人工林)	■ (Light green)
道有林 (人工林)	■ (Dark green)